

月刊島民

橋を渡る人の「街事情」マガジン

中之島

Vol.82 2015 5/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)



ナカノシマ大学

「すごいぞ!
鉄道王国・大阪2015」

黒田一樹

申し込み受付中!

中之島図書館は
すごかった。

中之島図書館はすごかった。

リニューアル工事のため一時休館していた大阪府立中之島図書館が、この4月1日より再び開館した。改めてその歩みをふり振り返り、外から内から、中之島図書館のすばらしさを再発見してみよう。

取材文／江口由夏 写真／李宗和 協力／大阪府立中之島図書館



知識欲高まる明治時代
市民の声を追い風に、
「大阪的」図書館誕生す。

中之島図書館の前身である「大阪

図書館」が誕生するまで、大阪には「大阪書籍館」なる読書施設があった。しかし、運営予算の不安定さから明治21年（1888）に閉鎖。時代は木版印刷と和装本から活版印刷と洋装本へと逆転し、書物が書架に並べられるようになった頃。西洋文化がもてはやされ、知りたければ本から学べしという風潮にもかかわらず、大阪には行政主導による公共図書館が無い状態だった。

そんな中で、大阪商業学校（現・大阪市立大学）や大阪工業大学（現・大阪大学工学部）を始め、大阪の学校には次々と読書施設ができた。さらに、明治31年（1898）の京都府立図書館開設が決定打となり、新聞や雑誌では図書館待望論を展開。世論を受けた大阪府はようやく、教育十カ年計画を定め、図書館の新設に動き出した。



住友家の養子だった吉左衛門。元内閣総理大臣の西園寺公望を実兄に持つ。



「白亜の殿堂」ともてはやされた竣工当時。

ココがすごい 建築

1.竣工当時最高級の花崗岩を用いた外壁や、正面4本の巨大な円柱が威風堂々といった印象。イタリアの上流階級の邸宅「ヴィラ・ロトンダ」を参考に、住友家お抱えの日本人技師がアレンジした。111年ぶりに外壁が洗浄され、当時の輝きが戻った。ペディメント(屋根と柱の間にある三角形の破風)や柱頭には植物を型どった華やかな装飾が。アーチ窓の奥は、普段は公開されていない記念室がある。2.ステンドグラスが美しい、吹抜の円形ホールが館内一番の見所。中央階段の先にある木製の廻り廊下は、手すりにも装飾が施されている。寄付に際しての住友吉左衛門の思いを記した銅板額、2体の彫刻や屋根の装飾に足留めされる。3.竣工以来、特別行事以外は閉ざされていた正面玄関。もう「開かずの扉」とは言わせない。



人々の期待と信頼は、 増える蔵書が物語る。

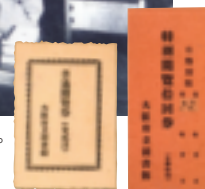
時を同じくして声をあげたのが、住友家第15代当主である住友吉左衛門友純。大阪府の計画を知った彼は、建物の建設費および図書購入費用の寄付を申し出た。欧米遊学中にアメリカの富豪がシカゴの美術館に私財を投じたことに感銘を受け、「自分も財閥の使命として、公共の施設を建設したい」という夢があった。吉左衛門は「せっかくなら技術と資材は惜しむべきでない」と府の建設予算案を拡大させ、自ら立ち上げを命じた住友家臨時建築部に設計を託した。

満を持して明治37年(1904)に開館した大阪図書館(2年後に「大阪府立図書館」と改称)では、初代館長自ら財閥や古書店にかけ合い、蔵書を集めて目録作成まで担った。当初は12歳以上の入館と有料閲覧が規則だったが、年を追うごとに児童閲覧室や館外への持ち出しが実現。市民の要望に可能な限り応える、街に開かれた図書館になっていく。

一方で、学生や実業家などの利用者も増えて連日満員、席数の増加が追いつかず閲覧を制限する事態に。待望の公共図書館と初代館長の手腕を慕い、寄贈図書が絶えることもなく、書庫の拡大も提議された。開館から10年で蔵書が3倍以上になったというから、この図書館がいかに期待されていたかがわかる。



文芸ホールに竣工時の閲覧室の装飾が。右は昭和26年(1951)まで必要だった有料閲覧券。





4

大阪府の中心的な役割を担う図書館として、大阪府立図書館の入館者はますます増えた。だが、昭和16年（1941）に太平洋戦争が勃発すると、閲覧禁止図書の設定や戦況悪化の影響から利用者が低下。戦災による職員の欠員や、貴重書の疎開のために休館も余儀なくされた。

しかし、度重なる空襲での被害は、書庫前（現在の職員通用口前）に焼夷弾が着弾しただけに留まった。市中には全焼した図書館もある中、ほぼ無傷で終戦を迎えたのは奇跡というほかない。

戦火をくぐり抜け、さらに市民に開かれた知的公共施設を目指した大阪府立図書館は、豊富な大阪資料や古典籍が活かされた主題別閲覧室と、分類法を改めた新目録を導入。実は、一般的な図書館で活用されている『日本十進分類法（NDC）』の成立より、創建の方が古いため、大阪府立図書館では独自の分類法である『大阪府立図書館和漢圖書分類表（ODC）』を用いていたのだ。整備された目録カード棚は中央ホールに

ココがすごい 歴史Ⅱ

戦火を免れた奇跡の図書館。
戦後、ますます市民と密着。
そして「専門図書館」へ。



目録カード棚のある中央ホールは、あまりの混雑に「床が沈む」との心配すら。



戦後、アメリカの民間情報教育局（CIE）の図書館が館内に併設。

ココがすごい 書庫

4.関係者以外立入禁止の閉架書庫には、中之島図書館の蔵書約57万冊のうち、50万冊が収められている。江戸末期以前の和装書は20万冊。5.竣工時からある一号書庫4階から3階を見下ろしてみる。閲覧室部分は3つのフロアで構成されているが、天井の高さを必要としない書庫部分は、5層から成り立つ。明治後期は鋼材の多くを輸入に頼っており、イギリスのドーマンロング社製の丈夫なものが使用されている。6・7.医学関係の和漢書などが集まった「石崎文庫」や、「夫婦善哉」の草稿が貴重な「織田文庫」など、財閥や文豪からの寄贈書がずらり。持ち出しはできないが、一般利用者でも閲覧や複写が可能だ。8.貴重書の名前で分かれた目録カード棚は、書庫や「大阪資料・古典籍課」の閲覧室で今も現役。



名実共に大阪の宝に。 かの文豪にも縁が。

ずらりと並べられ、目的の図書を探す利用者が群がった。

昭和49年（1974）、夕陽丘図書館と二館体制になった大阪府立図書館は、大阪府立中之島図書館と名を変えた。同年には本館と左右両翼が、国の重要文化財に指定された。

作家・織田作之助ゆかりの資料「織田文庫」や、歌人・川田順の旧蔵資料「川田文庫」などの貴重書が寄贈されたのもこの頃。織田作之助はエッセイ「大阪・大阪」（『定本織田作之助全集 第8巻』所収）で、戦前に受験勉強のために通った思い出を綴っている。『泥の河』を著した宮本輝も、昭和半ばの中之島図書館を舞台に短編「星々の悲しみ」を執筆。席の取り合いが盛んだった自習室の様子が詳しく描かれている。主人公の浪人生が閲覧室で仏文学や露文学を読み耽るのは、実は常連だった宮本の体験そのものののだ。

貴重書のみならず、建築そのものが市民が誇る宝となった中之島図書館だったが、膨れ上がる蔵書数と建物の老朽化は避けられない問題に。だが、平成8年（1996）、東大阪市に大阪府立中央図書館が開館し、大規模な蔵書移動をしたことで長年

の悩みは解決する。中之島図書館が「専門図書館」へ生まれ変わる第一歩だった。

緊急に書架を増やす工事の必要がなくなったとはいえ、限られたスペースは有効利用しなければならぬ。大阪の歴史的建造物にふさわしく、これまで収集した大阪の郷土資料や近世和漢書に特化してはという案が出る。これが後の「大阪資料・古典籍サービス」の前身となる。また、来館者へのアンケートによって、近隣の企業に勤める利用者が多いことがわかった。オフィス街の中之島にあることから、調査や資料集めのためによく利用されていたのだ。こうして、大阪資料・古典籍に並ぶもう一本の柱として、ビジネス支援に力を入れることとなった。



かつての中之島図書館の姿を思い描きつつ、読んでみては。

ココがすごい
本と人

「書を司る」ということ。



専門的な質問は 「ラッキー」ですね。

ビジネス支援課

司書 小笠原弘之さん

中之島図書館はかつてより、周辺のオフィス街のビジネスパーソンが多く利用していた。ビジネス関連の資料を求める来館者に、図書館はビジネス支援に特化することで応えた。

「サービスが本格化したのは2004年ですね。ビジネス関係の資料が集められていた大阪商工会議所の図書館が閉鎖した翌年に始まりました」と、ビジネス支援課の小笠原弘之さん。

主軸の一つは社史コレクション。企業が自社の歴史を一冊にまとめたものだが、記念や保存目的の非売品がほとんどのため、寄贈を願い出て収集している。

「ビジネスに役立つ資料としてはもちろん、ビジュアル面が優れたものは写真や画像を探すための資料として、あるいは大阪の歴史を知る郷土史料としても閲覧されているようです。サービスに特化した後でも、一般図書館の頃から通ってらっしゃる方にさまざまな角度から利用していただくのは、司書としてとても嬉しいことです」

専門性を問われ、司書の方々も四苦八苦したのでは？中央図書館の業務もよく知る小笠原さんは「あらゆる業界で更新されるビジネス情報は、何年勤めていても日々勉強」と話す。「レファレンスでお受けする質問は、確かににより回答が難しいものが多いです。一方で、図書館や司書の質を向上させることにもなる。開架数を増やして自分で見つけ出してもらうのが図書館の醍醐味ですが、利用者の方から質問されると、その分、図書館の蓄積が増えるのでラッキーだと思っています（笑）」。

- こういう人をお待ちしています。
- ・ 仕事をする上でのヒントを求めている方
- ・ 就職や転職の際、希望業界や企業について勉強したい方
- ・ 島民企業に就職した新入社員
- ・ PCを持ち込んで第二のオフィスにしたい方
- ・ ちょっとマニアックな業界紙や専門誌を読みたい方



ビジネス関係の資料は約17万冊。

資料室には新聞5大紙も揃う。リニューアルによりPC持ち込み可能な席も大幅に増加した。



見て触って楽しい社史コレクション。

蔵書は約5,000冊を誇る。各企業のこだわりは中身だけでなく、装丁や外装の素材にもおよび。



府立だから、手に入りにくい資料も。

流通ルートや価格の関係で、個人での購入が難しい名簿や事典、統計資料などの参考図書も網羅。



中之島図書館を訪れたからには、ぜひ司書の方に質問を投げてみてほしいが、PCを利用すれば館外からでも蔵書検索が可能。特に2006年からサービスが始まった「大阪文庫データベース」では、キーワードを打ち込むと、大阪に関連した文献を発掘してくれる。試して「島民」と入力すると記事や号単位で検索可能。大阪資料に特化した中之島図書館らしい専門機能だ。

キーワードで一発検索。

機械もどんどん利用しよう。

司書は、足でも知識を集めるんです。

大阪資料・古典籍課

司書 灘井雅人さん

灘井雅人さんは、中之島図書館の司書となって2年目を迎えた。大学図書館での勤務を経て高倍率の狭き門をくぐり抜けた猛者ではあるが、当初はその専門性にひどく驚かされた。「大阪資料・古典籍サービスを利用する方からの質問は、やはり大阪に関する事柄ばかりです。他県で育ったので、大阪の地名を言われてもピンとこず、回答にも遠回りをしてしまいました」。期待に応えるべく自ら大阪のまちを歩き回り、土地勘を養った。

司書は質問に回答するだけでなく、館内の展示も担当する。プレッシャーは大きかったが、大阪に関連したタイムリーなニュースに絡めた展示テーマを設定。展示資料の古典籍を調査し、実際に現地に足を運んだうえでギャラリートークも行なった。所蔵する古典籍を軸に、実際の街を巻き込んだ紹介が、その古典籍を現代に生かすことにつながると考えている。「IT関係の仕事をしていたことがあるので、資料のデジタル化を充実させて、古典籍に触れる間口も広げたいですね」

「司書ってぜんぜんインドアじゃないんです」と灘井さん。

「本を読んで出てきた土地に行って、ネタを仕込むのは基本。中之島界隈は美術館や博物館が多いので、特別展や講演会には積極的に足を運びます」。先輩司書たちと集まり、古文書を読む自主勉強会にも参加している。今後の課題は、大阪における医学や教育に詳しい先輩司書のように、自分の得意分野を見つけることだという。



約57万冊の蔵書は、実は「ビジネス支援サービス」と「大阪資料・古典籍サービス」の2つの役割に分類されている。そんな専門図書館で幅広く対応してくれる司書の方々も、当然すごかった。

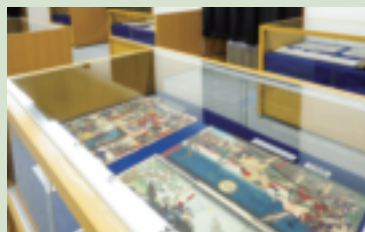
●こういう人をお待ちしています。

- ・古い書物の手触りが好きな方
- ・大阪の地名の由来について知りたい方
- ・古地図を使ったまち歩きに興味を持った方
- ・大阪で生活することになった他県育ちの方
- ・寄贈図書から財閥や文豪の「中之島図書館愛」に浸りたい方



「大阪の生き字引き」がスタンバイ。

大阪関係の調査相談は、大阪資料・古典籍室のカウンターまで。企業の土壌調査でも頼られている。



新入りの貴重書は、お披露目します。

大事にしまっておくだけが貴重書ではない。定期的に、企画展示も行われている。



「ここならある」かもしれない。

国内で唯一写本が残る「摂津国各郡農具略図」など、約20万冊の古典籍を頼って来る研究者は絶えず。



古典籍にデジタル化の波。
貴重書や古典籍はマイクロフィルム化やデジタル化での保存が進められ、誰でもPCから閲覧できるように配慮されている。たとえば月刊島民編集部も大変お世話になっているのが、「錦絵にみる大阪の風景」『浪花百景』などの錦絵250点から昔の大阪の風俗を知ることができるうえ、きちんと申請すれば、出版掲載などにも協力的だ。他にも2006年には、川崎巨泉のおもちゃ絵を集めた「人魚洞文庫データベース」がオープン。色とりどりの図版は見ただけで楽しい。

ココがすごい
歴史Ⅲ

図書館Ⅱ読書施設を超えた モデルとなるべく、 平成の第二期リニューアルへ。

2013年から約2年間で費やした耐震工事が完了し、この4月1日よりリニューアルオープンした中之島図書館。6月からは、第二期リニューアル工事に突入する。10月末まで臨時休館し、リニューアルが完了するのは来年の4月となるが、一体どのように変わるのか、総務課長の杉本洋一さんにお聞きした。

「目的は、図書館の役割を広げること。図書館Ⅱ本を読むだけでなく、ここにしかない建物や貴重書、人が集まることができるスペースを有効活用します。今回正面玄関を開けたように、重要文化財である建物を使った魅せ方もその一環でした。たとえば、



来年になれば、休館日にコンサート会場としての利用も期待できるかもしれない。ずいぶん前から『結婚式場として使えないか』という問い合わせもあるんですよ。来年4月には、指定管理者制度を導入したカ

フェの設置も予定しています」

「場所」を活かして人々を集める試みはすでに始まっている。ナカノシマ大学4月講座「ナイト・ライブラリー」開催協力もその一つ。大阪市中心公会堂の小集会室での講義後、図書館へ移動し、そのバックヤード

に案内するツアーを実施した。参加者には普段は隠された部分も合わせじっくり見てもらったことで、重要文化財である唯一無二の意味を理解してもらえたように思う。

リニューアルの背景には、大阪府議会でも問われた中之島図書館そのものの存在意義や、閉鎖後の美術館への転用など、外部有識者の意見があった。確かに図書館という枠だけで考えたとき、その中身は最先端でなく、実用性に欠ける面もあるかもしれない。しかし、その歩みを振



閉館後の図書館で行われたナカノシマ大学講座の様子。今後はこのような催しも増える?

2つの重要文化財をめぐる、 「中之島レトロ・ノスタルジックツアー」。

この5月、中央公会堂と中之島図書館という、2大スポットに足を踏み入れることができるツアーが実現する。普段は見学できない中央公会堂の特別室と、中之島図書館の書庫を、各館の方が案内しながらガイドしてくれるというもの。第二期工事前の最後のお披露目となるかもしれない。



日時／5月28日(木)
①2:30PM～4:00PM
②6:30PM～8:00PM
参加費／1,000円(プレゼント付き)
定員／各回20名(先着順)
※5月1日(金)9:30AMより受付
申し込み・問い合わせ／大阪市中央公会堂
☎06-6208-2002

大阪府立 中之島図書館

5月30日(土)まで、3階の文芸ホールでは、今回のリニューアル工事を振り返るデジタル展示やビジネス支援課の社史コレクション、大阪資料・古典籍課の平成26年度新収コレクションを公開中。くれぐれもお見逃しなく。
開館時間／9:00AM～8:00PM(土曜～5:00PM)
※デジタル情報室、書庫出納、複写受付、データベースやマイクロフィルムなどの利用受付は閉館30分前まで
休館日／日曜
☎06-6203-0474(代表)
<https://www.library.pref.osaka.jp/site/nakato/>

り返れば、大阪・中之島の文化や歴史を発信する拠点として、これほどふさわしい場所はないと感じる。今後は同じ中之島のシンボル同士として、中央公会堂と連携した事業も展開していくという。図書館の可能性を広げつつある中之島図書館の新しい門出を、楽しみに待ちたい。

キーパーソンが中之島の近未来を語る

中之島Next ネクスト No.02 松原眞由美さん(株式会社中之島バンクス代表)

中之島からアートの新しいネットワークを。

アート&カルチャーの発信拠点としての機能を担ってきた「中之島バンクス」。
アート部門のマネジメントを担当する松原眞由美さんが描く夢とは？

デザイン×アート×建築の 交差点として。

中之島バンクスの東エリア(中之島バンクスEAST)の2階は「de sign de >」(デザイン デ)というギャラリースペースになっています。「デザインミュージアム」の名のもとに、今までいろいろな企画をやってきました。

インテリアデザイナーの野井成正さんの展覧会や、関西を拠点に活躍する6人の建築家の集まりである「KANSAI6」の展覧会、脚本家の大宮エリーさんの展覧会もありました。2010年のオープンから4年間、建築・アート・デザインが交差するような展示やイベントを実験的に繰り返してきたわけです。

そんな中で、「デザインミュージアム」という枠組みにこだわらず、多くの人にとって開かれた場所になるよう昨年から少しずつコンテンツを変えています。例えば、写真展やライブイベント、トークショー、ワークショップなど、ジャンルは多岐にわたるようになってきました。

参加する人たちの「表現したい」という思いを受けとめ、発信していく場所として、これからどうなっていくのか私たちも楽しみです。

アートを軸にしたネットワークを。

中之島のような水に囲まれた立地と、歩いて回ることのできる距離感でミュージアムや名建築が集積しているエリアは世界を見てもそうはありません。だからこそ、この



中之島バンクスはアートの発信のほか、最近ではショップやレストランが増え(P12)、ウェディング会場としての顔も持つように。オープンから5年間で着実に進化を遂げている。<http://www.nakanoshima-banks.com/>

中之島で民間も行政も一体となって観光と文化が川を介してつながるようなネットワークができるはずですよ。

具体的には、アートフェアのように1つのテーマを複数の施設で掘り下げていくようなコンテンツの面で連携、あるいは街の中のサイン関係を整備して、インフラの面からそれを支える必要もあります。アートを軸にしようと思えば、街そのものが美しいことも求められるはずですよ。

すでに各施設間の人的なネットワークはあるのですが、やはり動きとしてはまだまだ小さい。行政機関や企業などさまざまな立場の人たちが参加する運動体を起こしていかなければ。大阪のシンボルエリアでもある中之島にいる私たちにも、少なからずその夢に対する責任があるだろうと感じています。

この記事の全文は「中之島Days」
ウェブサイトで読むことができます。



松原さんはギャラリースペース「de sign de >」を運営する株式会社中之島バンクス代表を務め、さまざまな企画展やイベントを立案、運営している。



中之島の暮らしを
歴史・現在・未来から知るための情報サイト

中之島 Days デイズ

<http://nakanoshimadays.com/>

月刊島民&
大阪スケジュールの
コラボで発信!



ケータイ&
スマホからはこちら!



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の
懐徳堂
プロジェクト

あの名物講座が
帰ってきた!



2012年デビューの京阪電車の最新車両はこちら13000系。

◎今月の授業

【鉄道】



阪急における21世紀的な上質さとは? その答えの一つが1000系だ。



阪神電車は企業コピーを「たいせつ。がギュッと。」に一新。

2015年6月講座

「すごいぞ! 鉄道王国・大阪2015」

講師／黒田一樹 (中小企業診断士・鉄道愛好家)

関西大手私鉄5社の「個性」は、
21世紀においてどう変化しているのか?
最近の鉄道ニュースを踏まえて分析。

2013年から2014年にかけて開催した黒田一樹さんの「すごいぞ! 鉄道王国・大阪」シリーズは、全5回すべて満員札止めを記録。関西大手私鉄5社の個性を独自のキーワードを元に分析する視点の新鮮さに加え、鉄道への愛溢れる中毒性の高いトークが大人気だった。

それから1年余り。新車両のデビューや駅のリニューアル、企業キャッチフレーズの刷新など、各社で新しい動きが見られ

ている。そんな中で、黒田さんがキーワードによって導き出した各社の個性はどのように変化したのか?

関西を舞台に5社が切磋琢磨する中でキャラクターが生まれ、ファンを獲得してきた大阪の鉄道。企業カラーや車両から個性が薄れつつあるとも言われる中、21世紀もそのDNAが継承されることを願いたい。果たして…。大阪の鉄道のリアルタイムを語り尽くします。

『月刊ビッグガンガン』にて
黒田一樹さん監修の
鉄道マンガが連載開始!

『銀彩の川』

(原作／萱島のぞみ・作画／倉田嘘)

都心とベッドタウン・観光地をつなぐ私鉄「東風鉄道」で車掌を務める主人公・芹沢千章の奮闘を中心に、安全を第一に誇りを持って職務に従事する鉄道マンたちの姿を描く新連載。コミカルな人間ドラマだが、鉄道に関するディテールの緻密さにも注目。何を隠そう作中の電車や駅などはすべて黒田一樹さんが監修。「乗りたくなる電鉄コミック」に期待大。5月25日発売の『月刊ビッグガンガン』2015 Vol.06 (スクウェア・エニックス刊)より連載スタート。



募集要項	「すごいぞ! 鉄道王国・大阪2015」 日時／2015年6月17日(水) 7:00PM～8:30PM頃(開場6:30PM～) 会場／大阪市中央公会堂 小集会室 受講料／2,000円 定員／100名 主催／ナカノシマ大学事務局	お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、FAX、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 「ナカノシマ大学6月講座」受付係 FAX.06-4799-1341 ※先着順で受付後、5月20日前後より受講票を発送します。 ※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。 ※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。
------	--	---

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは
こちら!→



お問い合わせ ☎ 06-4799-1340
(ナカノシマ大学事務局)

笑う落語の大阪

第十四回 高島幸次

先日桂米朝さんの訃報は、まさに「巨星墜つ」の感があった。今後も、その芸はDVDなどで楽しむことはできるが、しかし落語は生でなくてはね、とも思ってしまう。

だが、その著書から受ける恩恵は、今後も変わることはない。なかでも『米朝ばなし・上方落語地図』は、私の座右の書だ。上方落語の舞台となった諸処について披露される蘊蓄は実に興味深い。

たとえば「日本橋」の項では、『宿屋仇』『しびん』『ためし斬り』のネタを紹介しながら、「日本橋を舞台にした話には、武士がよく登場します」と、さりげなく指摘する。

なるほど、『宿屋仇』では日本橋の紀州屋に泊った明石藩の武士が隣の客に迷惑する。『しびん』（尿瓶の花活け）ともいう）では、日本橋近くに宿をとった鳥取藩の武士が、尿瓶を花器と間違って買い求める。『ためし斬り』では、日本橋南詰に野宿する男を試し斬る武士が登場するという具合だ。

薮田貫氏の『武士の町 大坂』に

よれば、大坂に居住した武士は、家族も含めて約8千人。町人35万〜40万人に比べれば、2%にすぎないという。しかも、その40%は大坂城内に住んだというから、大坂市中で武士の姿を見掛けることは稀なことだった、と考える。

しかし、先の明石藩や鳥取藩の武士は、薮田氏がカウントしないところの旅宿者だ。当時の日本橋は「往來つねに繁く、両辺には旅舎軒をな

大坂市中にも、 武士の姿が。

らべ、橋下には舟かまびすし」（『撰津名所図会大成』）というように、旅人の多い町だったのだ。

大坂市中には旅の武士だけではなく、参勤交代の武士たちも泊ったのだから、意外に武士の姿は珍しくなかったのだらう。なるほど、落語って勉強になるな！

5月天神寄席のゲストは、大阪城天守閣の北川央館長です。世が世なら大坂城代ですよ。たかしまこうじ
大阪大学招聘教授、追手門学院客員教授、大阪天満宮文化研究所研究員などを務める。

5月寄席は、大坂市中のお侍さんが主役。

天満天神繁昌亭では、土地を提供している大阪天満宮に敬意を表し、毎月25日の夜席を「天神寄席」と銘打ち、さまざまな企画を開催している。5月には、江戸時代の大坂の「武士」をテーマにした斬が集まる。「町人のまち」大坂にも、大坂城や諸国の蔵屋敷があった中之島のように、少なからず、武士が集まる場所もあった。

しかし市中を闊歩すれば、町人との掛け合いで二本取ったり取られたり。そんなお侍の実態を、大阪城天守閣の館長である北川央先生が明かす。

●5月のお題は「武士」

5月25日(月)

「大坂の 武士気質」

落語／桂三葉「糺の合衆」

桂阿枝「尿瓶の花活け」

露の新治「井戸の茶碗」

笑福亭仁嬌「佐々木裁き」

桂楽珍「宿屋仇」

鼎談／古の昔の武士の侍が…

北川央（大阪城天守閣館長）

高島幸次（大阪天満宮文化研究所）

桂春之輔

ナカノシマ大学で前売り券を買うとお得！

「天神寄席の前売チケットをナカノシマ大学で買うと、1800円で入場できます。いつものナカノシマ大学と同じく、ウェブ、ハガキ、FAXでお申し込みを受付中。

開催日／5月25日(月)

時間／6:30PM（開場6:00PM）／受付開始5:45PM（）

受講料／1800円（通常…前売2000円／当日2500円）

支払い方法／当日、現地に精算

※予定枚数に達し次第、販売終了します。

※ナカノシマ大学で販売するチケットは前売り券のみです。当日券の販売はありません。

●申し込み方法はP10を参照してください。

●問い合わせ ☎06・4799・1340（平日10:00AM〜7:00PM）



イラスト／フジワラトモコ

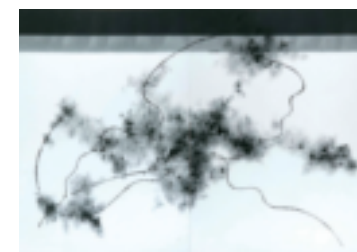
高島先生のコラムでも挙げた日本橋が舞台の「宿屋仇」は、桂楽珍さんの熱演で。

トウミン月報

2015年5月1日発行



上/「もうひとつの自然」
カンバスに墨と絵具 224.0x324.0cm
左/「黒松」
カンバスに墨と絵具 162.0x224.0cm



山本浩二個展

「もうひとつの自然×生きている老松

Another Nature × A Living Old Pine」

期間/2015年5月14日(木)～6月14日(日)

時間/11:00AM～7:00PM※5月16日(土)は一般入場4:00PMまで

休館日/月曜休

会場/中之島バンクスのサイン・オブ・ザ・シティ

入場料/無料

対談 山本浩二×光嶋 裕介「絵画と建築」

日時/2015年5月16日(土)4:00PM～6:00PM

参加費/1,000円

申し込み方法/件名に「山本浩二個展」と明記し、名前・連絡のつく電話番号を明記の上、info@designde.jp宛にメールで申し込み。

ギャラリーでは 山本浩二の個展を開催

まずは注目の展覧会情報から。画家・山本浩二の個展「もうひとつの自然 Another Nature×生きている老松 A Living Old Pine」が開かれ、イタリアをはじめ海外でも高い評価を受ける山本浩二は、2011年に旧友であり武道家の内田樹氏の合気道道場兼

学塾である「凱風館」の能舞台に「老松」を描く。これをきっかけにシリーズ「生きている老松」の制作を開始した。今回の展覧会では「老松」と並ぶ代表作であるシリーズ「もうひとつの自然」からも作品を出展。

から生命のエネルギーや躍動感を感じさせる点において共通しており、山本浩二の作品が宿す深淵な世界を存分に体感することができる。また、5月16日(土)には凱風館の設計を行った気鋭の建築家・光嶋裕介氏との対談「絵画と建築」も行われる。

ニエースが 盛りだくさん 中之島バンクスの



中之島バンクスの最新のショップは、3月末にオープンしたばかりの「リトルエスケイプ」。ヘンブローガニックコットンを使ったリラクシングウェアである「リトルエスケイプ」や、サーフアートの知られる豊田弘治さんの「パームグラフィックス」など、都会的なサーフスタイルのウェアや雑貨が揃う。その他、ベビー&キッズサイズのサーフTシャツや

全国の「なかのしま」がやって来る物産展。月刊島民の舞台である中之島。ところで日本全国には「なかのしま」と名の付く場所が数多く存在する。そんな全国の「なかのしま」の名物や名産品が集まる物産展がゴールデンウィーク中に開催される。「全国なかのしま物産展」には、6つの県が、その土地土地の名物を並べた屋台を出店。例えば、新潟県長岡市にある「中之島町」は日本一とも言われる米の生産地。大阪ではな

かなか手に入らないお米と共に、野菜や果物も一緒に並ぶ予定とのこと。その他、広島県呉市、三重県紀北町、島根県海士町、長崎県五島市、青森県五所川原市など、まさに全国津々浦々の街から人やものが集まってくる。同じ名前を持つ島民仲間としては、ぜひ盛大にお迎えしたいところ。こんな「なかのしま」があったのかと驚くはずだ。



新潟県長岡市
中之島のマスケット「なかのしま」。

第1回 全国なかのしま物産展

日程/5月3日(祝・日)～5日(祝・火)

時間/9:00AM～5:00PM

(日没まで)

会場/中之島バンクスのサイン・オブ・ザ・シティ

問い合わせ ☎06-6441-3553

(全国なかのしま物産展・事務局)

新潟県の誇るブランド牛「にいがた和牛」。



島根県海士町
＝中之島の名産は岩ガキ「春香」。



リトルエスケイプ
☎06-6445-5232
12:00PM～7:00PM
月曜休



中之島の西端からすべ、江
之子島にある文化芸術創造セ
ンター(enoco)で、新企画「え
のこdeマルシェ」がスタート
する。

この企画はenocoとクリエ
イターたちが共同で開催する
マルシェイベントで、面白い
のはその時々で扱うテーマや
商品、さらに空間までもがガ



enocoの 新企画がスタート! 「えのこdeマルシェ」

ラッと変化するところ。第1
回目となる5月16日(土)の
テーマは「古本」で、enoco
に入居するアート&サフカル
チャー系古本店「ON THE
BOOKS」とのコラボレーシ
ョンで開催する。

出店者は大阪・京都・神戸
から大集合。古本のジャンル
も文学やアートブック、古い
映画のパンフレット、さらに
各店長の個性がにじむ特選本
や雑貨なども。さらにフード
やカフェの出店もあり、本と
の出会いを楽しみつつゆっく
り過ごすことができそうだ。
今後は秋に古本市、冬には
enocoで開催されているいろ
いろな教室を集めたスクール
見本市を予定している。
(大迫力・本誌)

えのこ de マルシェ
「春の古本市」
日時／5月16日(土)
11:00AM～6:00PM
会場／江之子島文化芸術創造センター
参加費／無料
問い合わせ ☎06-6441-8050
◎店舗情報はホームページにて随時公開。
<http://www.enokojima-art.jp/>

あの「淀屋橋」や屋敷跡の
碑にも名を残す、江戸時代の
豪商「淀屋」。その巨万の富で
大名をも凌ぐに至った力を危
険視した幕府に關所を言い渡
され、財産を没収されてしま



豪商「淀屋」の關所とは? 研究会主催のシンポジウム

った大坂の町人だ。
島民なら知らない人はない



有名なたが、実は暖簾分けし
た鳥取県で「淀屋」の名を継ぎ、
淀屋橋のもとに店を再興し
たことは、あまり知られてい
ない。意外な大阪と鳥取のつ
ながりを掘り下げるべく、淀
屋關所から300年後の20
05年に「淀屋研究会」が発足。
代表の毛利信二さんは「淀屋
は取り潰しに合うほどの贅沢
が過ぎた負のイメージがつき
がちですが、実は初めて米市
場を開設し、天下の台所の礎
を築いた偉人でした」と話す。

淀屋關所310年記念シンポジウム
期間／5月23日(土) 時間／1:00PM～4:00PM
会場／綿業会館新館 7階 大会場 定員／130名
参加費／1,000円(講演のみ)
※館内見学や昼食付コースもあり。
問い合わせ ☎090-3263-4108
<http://www.ric.hi-ho.ne.jp/yodoya-ken/>
申し込み方法／eric_nifty.comまで、郵便番号・住所・
氏名・希望コース・電話番号・FAX番号・メールアドレスを
明記したメールを送付。

その実像を探る淀屋研究会が、
この5月にシンポジウムを開
く。思いがけない豪商の一面
が明かされるかもしれない。
(江口由夏・本誌)

堂島川沿いの「ほたるまち」
に社屋を構えるABC朝日放
送。毎年ゴールデンウィーク
にはバーベキューや収録スタ
ジオを開放し、子どもたち
にも好評のお祭りを企画して
、中之島興隆を盛り上げている。
3年目となる今年も「ABC
感謝祭2015 マイドほたる
まち」を開催。やはり
名物番組「パネルクイズ ア
タック25」などのセット展示
は大人気。昨年から放送を
開始した「松本家の休日」の
セットも加わり、さらに注目
的になりそう。また、ア

ナウンサーが店長を務める「ア
ナカフェ」や、人気ラジオ番
組の公開生放送など、「会える
ことを重視したゾーンが充実
している。普段は非公開の現
場を知るチャンスで、逃す手
はない。(江口由夏・本誌)



ほたるまちを熱気で包む ABC朝日放送のお祭り



ABC感謝祭2015 マイドほたるまち!
期間／5月5日(火・祝)～6日(水・休)
時間／10:00AM～5:00PM 会場／ほたるまち周辺
入場料／無料(※番組セットなど、一部有料ゾーンあり)
問い合わせ ☎06-6303-1810(平日10:00AM～6:00PM)
<http://asahi.co.jp/maidohotarumachi/>

オフィスビルの中にはよく、そこで働く人たちが行きつけの喫茶店がある。6000人が働くオフィスビルでもある中之島フェスティバルタワーの場合は、エレベーターの乗り換えフロアにあたる13階の「Ciao」がそういう存在になるのかもしれない。

エレベーターホールの奥にあるこじんまりとした店だが、ビルで働く人たちがひっきりなしにやって来る。仕事の合間の小休止にやって来る人や、コーヒーを片手にスケジュールチェックに余念がな

展望フロアの ささやかな贅沢。

「Ciao」 ●カフェ



忙しいビジネスパーソンには「健康」も気を使うポイント。ビタミンたっぷりのグリーンスムージー(400円)は1年を通して人気の定番商品。チンゲンサイ、バナナのほか季節によってブレンドする野菜や果物を変える。

忙しなかたが、エレベーターの乗り換えフロアにも、こんな楽しみがあったとは。

い人、取材の行き帰りにテイクアウトしていく新聞記者も。会議があるからとオフィスまでデリバリーを頼む人も多いというのもオフィスビルのカフェらしい。

さらに、フェスティバルホールや朝日カルチャーセンターのお客

こちらで買ったドリンクなどは、同じフロアの東側に設けられた休憩スペースのテーブルでも飲むことができる。堂島川を見下ろしながら、ほっと一息つく時間はなかなか優雅だ。エレベーターの乗り換えフロアにも、こんな楽しみがあったとは。



さん、同じフロアにある展望スペースの「スカイロビー」を見学しに来た人など、実にさまざまな顔ぶれが訪れる。そうした交差点のような人が行き交う場所だからこそ、店長の森茂裕さんをはじめ、お店の方が気を使っていることがある。それはお客さんとのコミュニケーションだ。

スピーディーな接客を心がけながらも、さりげない会話からお客さんの好みの傾向を聞き出したり、新しい商品のヒントを探っていく。ゆずを使ったドリンクや朝食にもランチにもぴったりのスープとクロワッサンのセットなど、そうしたやり取りから生まれたメニューも多い。ちなみに、現在企画中の新商品には、抹茶や豆乳を使ったドリンクやフルーツジュースなどがあるのだそう。

チャオ
Ciao

●中之島フェスティバルタワー13F

デイリーユースのカフェらしく、コーヒーは220円、カフェオレ270円とリーズナブルで、サンドイッチなどの軽食も。イトインもテイクアウトもできる。スープとクロワッサンのセットは500円。また、南堀江の人気パティスリー「グランフルーヴ」のパウムクーヘンや焼き菓子も人気。☎06-6223-5001
8:00AM~7:00PM(LO6:30PM) 土・日・祝11:00AM~6:00PM(LO5:30PM) 不定休

祝 祭 へ よ う こ そ。

FESTIVAL
PLAZA

<http://festivalplaza.jp/>

提供/株式会社 朝日ビルディング



大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅／京阪シティモール／京阪モール／デリスタ天満橋店／ホテル京阪天満橋／ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 【書店】旭屋書店 梅田地下街店／梅田 萬屋書店／カベラ書店／紀伊國屋書店 梅田本店／グランフロント大阪店・本町店／ジュンク堂書店 大阪本店・梅田ヒルトンプラザ店・天満橋店／MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店／文教堂書店 淀屋橋店／隆祥館書店 【公共施設・大学関連施設など】アイスポット／朝日カルチャーセンター／味の素 食のライブラリー／ABC朝日放送／大阪企業家ミュージアム／大阪倶楽部／大阪工業技術専門学校／大阪国際会議場／大阪市中央公会堂／大阪市立科学館／大阪市立総合生涯学習センター／大阪市役所市民情報プラザ／大阪城天守閣／大阪商工会議所／大阪大学中之島センター／大阪21世紀協会／大阪府立中之島図書館／大阪ボランティア協会／大阪歴史博物館／追手門学院 大阪城スクエア／川の駅はちけんや／関西学院大学 大阪梅田キャンパス／慶應大阪シティキャンパス／国立国際美術館／CITY NAIL'Sインターナショナルスクール／芝川ビル 市立住まい情報センター／少彦名神社／中央電気倶楽部／ホテルNCB／メビック扇町／立命館大阪オフィス／龍谷大学大阪梅田キャンパス【店舗・医院など】アンドール 本町本店／上町貸自転車／Ultra 2nd／江戸前鰻料理 志津可／天満橋鍼灸整骨院／MJB珈琲店／大西洋服店／OOO(オー)／カセット／喫茶カントーロ／喫茶SAWA／グラススイート中之島／黒門かき／コモカフェ／The Court／サウ花店 中之島本店／サメロディ／シアトルベネッセ／新開ビル店／じろう亭／Girond's JR／心斎橋山田兄弟歯科／住友病院／セブンイレブン大阪証券取引所店／タビエスタイル／たまがわ鍼灸整骨院／東郷歯科医院／NAKAGAWA1948 淀屋橋店／ナシジャーノ／バスターレ／花かつ／BAR THE TIME 天神／平岡珈琲店／ビルマニアカフェ／FOLK／フレイムハウス／ミニジロー／宮崎歯科／やきとりばかや／吉田理容所／LES LESTON
- 大阪市内その他 【書店】紀伊國屋書店 京橋店／ジュンク堂書店 難波店／福島書店／柳々堂／ループル書店 【公共施設・大学関連施設など】大阪市社会福祉研修・情報センター／大阪市立中央図書館／大阪府立江之子島文化芸術創造センター／川口基督教教会 【店舗・医院など】あじさい／アートアンドクラフト／欧風食堂 ミリバー／大阪シティ信用金庫 江戸堀支店／御舟がめ／Cato Bookshop and cafe／写真とプリント社／鳥かごキッチン／ネイルサロン スワンナ／バルビコ／ホステル64オオサカ／MANGUEIRA／Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店／学運堂／Books 呼文堂／水嶋書房 千住はモル店／大阪狭山市立図書館／大阪市立難波市民学習センター／大阪大学企画広報・社学連携事務局／大阪大学 21世紀懐徳堂／大阪大学本部／摂南大学 地域連携センター／郵政考古学会／ゆったりんこ
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店／恵文社 一乗寺店／水嶋書房 丹波橋店／伊丹市文化振興財団／川のほとりの美術館／納屋工房／タバーン・シンブソン／百練／奈良県立図書館情報館
- 東京 往来堂書店(千駄木)／BOOKSルーエ(吉祥寺)／B&B(下北沢)／隣町珈琲(荏原中延)

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 夢の中之島

かつて存在した都市計画や建築構想など、残念ながら
実現されなかったアイデアから中之島の歴史やイメージの変遷をたどる。

●『月刊島民』vol.83は2015年6月1日発行です！

編集・発行人／江 弘毅(編集集団140B)

編集・発行／月刊島民プレス

若狹健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)

松本 創 江口由夏 大迫 力(編集集団140B)

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階

Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341

制作進行／堀西 賢(ALEGRESOL)

デザイン／山崎慎太郎

表紙イラスト／奈路道程

印刷／佐川印刷株式会社


 ころまち つくろう
KEIHAN
 京阪電車

街のなかでは
 味わえない、
 ドキドキです。

クライミングウォール(ほしだ園地)
 中之島けい子



展望デッキ(ほしだ園地)



くつろぎ池



星のランニング(ほしだ園地)

おけいはん、きさいちで大冒険

きさいち
 京阪電車の私市駅から、大自然を身近に感じるお出かけへ。

私市でアウトドア

チャレンジ!
 おけいはん

おけいはんが私市で自然満喫!

フォト日記やエリア紹介マップをweb上で公開しています。

詳しくは、京阪電車主要駅のチラシをご覧ください。

チャレンジおけいはん

検索

Facebook

@c.okeihan



心も身体も
のびのび

京阪の
 人、
 おけいはん。